

竜巻から身を守る

竜巻は突然発生し、
短時間で大きな被害をもたらします！

竜巻は季節を問わず、台風、寒冷前線、低気圧に伴って発生します。



竜巻が発生する前には兆しが見られます。

竜巻が発生する兆し①

竜巻をもたらすような積乱雲の接近

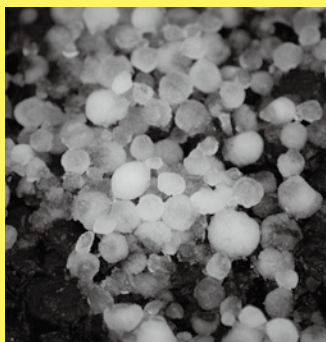
- 低く黒い雲(積乱雲)が近づいてくる。
- 急に冷たい風が吹く。
- 雷鳴が聞こえたり、稲光が見えたりする。

竜巻が発生する兆し②

竜巻をもたらすような積乱雲による現象



窓や壁に打ち付けるような
強い雨や風。



大粒の雹(ひょう)が降る。

〈竜巻が接近したときの特徴〉

- 雲の底から地上に伸びる、ろうと状の雲が見える。
- 木の葉やゴミなどの飛散物が円筒状に舞い上がっている。
- ジェット機のようなゴーッという轟音がする。
- 気圧の変化で耳に異常を感じる。

※これらが該当した場合、竜巻が発生する可能性があります。

頑丈な建物内に避難するなど、安全の確保に努めてください!

「竜巻」が間近に迫ったら…

すぐに身を守るための行動をとってください!

屋外では

頑丈な建造物の物陰に入って、身を小さくする。

屋外では

物置や車庫・プレハブ（仮設建築物）の中は危険。

屋外では

シャッターを閉める。

屋内では

窓から離れる。大きなガラス窓の下や周囲は大変危険。

屋内では

家の1階の窓のない部屋に移動する。

屋内では

窓やカーテンを閉める。

屋外では

電柱や太い樹木であっても倒壊することがあり、危険。

屋内では

丈夫な机やテーブルの下に入るなど、身を小さくして頭を守る。

※竜巻注意に関する詳細については、気象庁のホームページをご覧ください。

気象庁「竜巻から身を守る」

検索

テロ・武力攻撃への備え

身の安全を守るために

🔊 警報が発令されたら

屋内にいる場合

- ドアや窓を全部閉めてください。
- ガス、水道、換気扇を止めてください。
- ドア、壁、窓ガラスから離れてください。

屋外にいる場合

- 近くの堅牢な建物や地下街など屋内に避難してください。

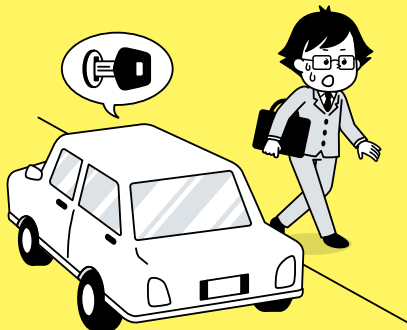
情報収集

警報をはじめ、テレビやラジオなどを通じて、情報収集に努めましょう。



自家用車を運転している場合

- できる限り道路外の場所に車を止めてください。
- やむを得ず道路に置いて避難するときは、道路の左側端に沿って鍵をつけたまま駐車するなど、緊急通行車両の通行の妨害とならないようにしてください。



📢 避難の指示が出されたら

自宅から避難所へ避難する場合

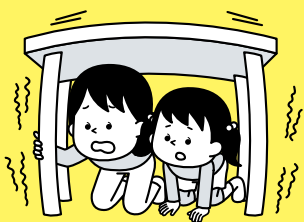
- ガスの元栓をしめ、電気のコンセントを抜いておきましょう。ただし、冷蔵庫のコンセントはさしたままにしておきましょう。
- 頑丈な靴、長ズボン、長袖シャツ、帽子などを着用しましょう。
- パスポートや運転免許証など、身分を証明できるものを持っていきましょう。
- 家の戸締りをしましょう。
- 近所の人声をかけましょう。
- 避難の経路や手段などについて行政機関からの指示に従い適切に避難しましょう。



📢 警報がなくても

身の回りで急な爆発が起きたら

- 姿勢を低くし、身の安全を守りましょう。周囲で物が落下している場合は、落下がとまるまで頑丈なテーブルの下などに身を隠しましょう。



- 爆発が起こった建物などからできる限り速やかに離れましょう。
- 警察や消防の指示に従って、落ち着いて行動しましょう。
- テレビやラジオなどを通じて、行政機関からの情報収集に努めましょう。

火災が発生したら

- できる限り低い姿勢をとり、急いで建物から出ましょう。
- 口と鼻をハンカチで覆いましょう。



がれきに閉じ込められたら

- ライターやマッチを使用しないようにしましょう。
- 動き回って粉じんなどをかき立てないようにしましょう。
- 口と鼻をハンカチで覆いましょう。
- 自分の居場所を周りに知らせるために、配管などを叩きましょう。
- 粉じんなどを吸い込む可能性があるので、大声を上げるのは最後の手段としましょう。

